

+α

あるエンジニアからの学び

ギターメンテナンス技術者との会話で
印象的だった言葉

「期待を超えてパフォーマンスしなければ、
何かに置き換われる存在になってしまう」

この+ α をどこに置くかが、
仕事の価値を決める

組織の仕事で考えてみると？

個人の $+\alpha$ は重要。

でも組織全体ではどうだろう？

人と人の境界線で

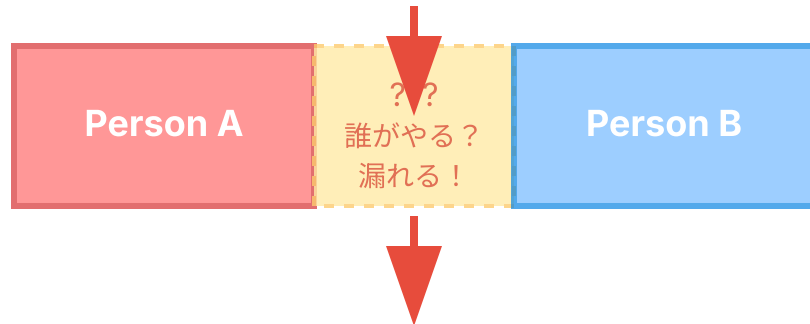
何が起きているのか見てみよう。

仕事の境界問題

担当が明確に分かれている時

問題: 境界がぴったり合うことはない

- 黄色い部分（誰の担当？）が発生
- 結果として仕事が漏れる、品質が下がる

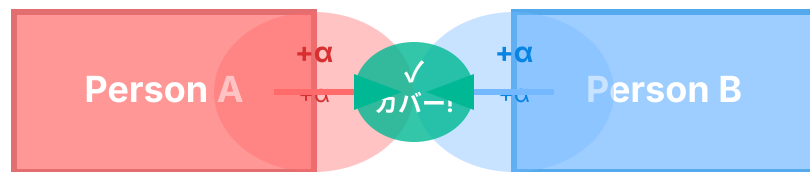


解決策： $+\alpha$ の効果

現実: 人間同士、完璧な境界線は引けない

だからこそ: お互いが自分の領域から
少し $+\alpha$ を出すことで、初めて全体をカバーできる

これが $+\alpha$ の真の価値



でも、ちょっと待って

現実的な制約があることも事実

一人の人が出せる $+\alpha$ の量は有限
そして限界がある

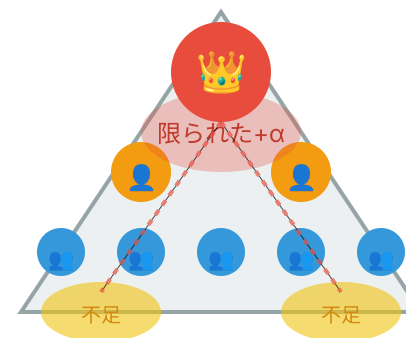


組織構造で考える：Top Down の限界

従来の階層構造

現実:

- 上層部の $+\alpha$ は限られている
- 組織が大きくなるほど末端まで届かない
- 黄色い部分＝カバーされない領域が拡大

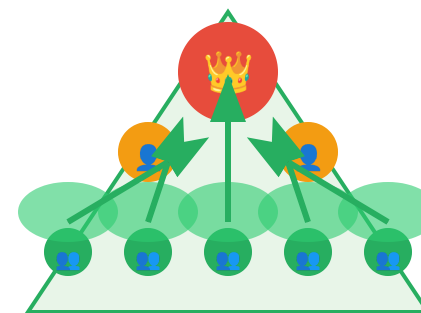


新しい視点：Bottom Up の可能性

逆転の発想

仮説:

- 現場の一人ひとりが $+\alpha$ を出せば
- **多点からの $+\alpha$ が生まれる**
- **結果としてより多くの領域をカバーできるはず**



豊富な $+\alpha$ 供給！

だからこそ、問いたい

有限な個人の $+\alpha$

無限に近い組織のニーズ

このギャップを前提として...

あなたは

どこに

+ α を置きますか？

| ありがとうございます

質疑応答